

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 3 月 23 日

計画の名称	24 誰もが快適・便利に移動でき、安全・安心に暮らせるまちづくり																														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象	知立市																								
計画の目標	・市街地における道路整備や橋梁の耐震補強計画により、快適で安全・安心な生活環境づくりを目指す。																														
計画の成果目標（定量的指標）	・区画整理地内の街路事業について、未着手となっている都市計画道路の整備を推進する。 ・橋梁長寿命化計画を策定するとともに、橋梁長寿命化計画や耐震補強計画を踏まえ、効率的な橋梁の修繕を推進する。																														
定量的指標の定義及び算定式	<table><thead><tr><th rowspan="3"></th><th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th><th rowspan="3">備考</th></tr><tr><th>当初現況値</th><th>中間目標値</th><th>最終目標値</th></tr><tr><th>(H23当初)</th><th>(H25末)</th><th>(H27末)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 都市計画道路整備率（％）＝都市計画道路の総延長に対する、整備済区間の延長 ＝都市計画道路の整備済区間の延長（m）÷同総延長（m）×100</td><td>67%</td><td>68%</td><td>69%</td><td></td></tr><tr><td>② 橋梁耐震補強化率（％）＝市内の7m以上の橋梁数に対する、耐震対策を実施済の橋梁の割合 ＝耐震対策を実施済の橋梁（箇所）÷7m以上の市管理の橋梁（箇所）×100</td><td>48%</td><td>70%</td><td>77%</td><td></td></tr></tbody></table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H23当初)	(H25末)	(H27末)	① 都市計画道路整備率（％）＝都市計画道路の総延長に対する、整備済区間の延長 ＝都市計画道路の整備済区間の延長（m）÷同総延長（m）×100	67%	68%	69%		② 橋梁耐震補強化率（％）＝市内の7m以上の橋梁数に対する、耐震対策を実施済の橋梁の割合 ＝耐震対策を実施済の橋梁（箇所）÷7m以上の市管理の橋梁（箇所）×100	48%	70%	77%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																											
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																												
	(H23当初)	(H25末)	(H27末)																												
① 都市計画道路整備率（％）＝都市計画道路の総延長に対する、整備済区間の延長 ＝都市計画道路の整備済区間の延長（m）÷同総延長（m）×100	67%	68%	69%																												
② 橋梁耐震補強化率（％）＝市内の7m以上の橋梁数に対する、耐震対策を実施済の橋梁の割合 ＝耐震対策を実施済の橋梁（箇所）÷7m以上の市管理の橋梁（箇所）×100	48%	70%	77%																												
全体事業費	合計 （A＋B＋C）	3,539百万円	A	3,533百万円	B	0百万円	C	6百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	1.0%																					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価の検討にあたり、事業担当課のみならず、庁内の横断的な組織によって、総合的かつ専門的な見地から検討を行うため、庁内の関係部署による「社会資本総合整備計画事業評価庁内検討会議」を組織した（2回開催：平成27年9月、10月）。 また、事後評価等が適切に遂行されたことを中立・公平な立場で確認していただくとともに、意見を求めることを目的として、有識者や地元関係者により「社会資本総合整備計画事業評価委員会」を組織した（2回開催：平成27年8月、11月（予定））。	平成27年度に事後評価を実施、平成28年度に確定値によってフォローアップ調査を実施 公表の方法
	知立市都市整備部まちづくり課の窓口で閲覧、知立市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H23	H24	H25	H26	H27				
24-A1-1	街路	一般	知立市	直接	知立市	S街路	改築	知立駅周辺地区 (名鉄名古屋本線等地区 (市))	区画整理 A=13.3ha	知立市						751	※11-A95より移行		
24-A1-2	街路	一般	知立市	直接	知立市	区画	改築	知立駅周辺地区 ((都) 南北線 外)	区画整理 A=13.3ha	知立市						2,121	※5-A40より移行		
24-A1-3	街路	一般	知立市	直接	知立市	S街路	改築	知立環状線 (名鉄名古屋本線等地区 (市))	バイパス L=150m	知立市						655			
24-A1-4	道路	一般	知立市	直接	知立市	市町村道	修繕	(他) 山屋敷町3号線 (御手洗橋)	橋梁補修 落橋防止	知立市						4			
24-A1-5	道路	一般	知立市	直接	知立市	市町村道	修繕	(他) 弘法町3号線 (弘法下橋)	橋梁補修 落橋防止	知立市						2			
小計 (道路事業)															3,533				

A2	港湾事業
----	------

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27			
												小計（港湾事業）						
												合計						

[illegible]

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
24-C1-1	計画・調査	一般	知立市	直接	知立市	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	点検及び計画策定 N=39橋	知立市						6	※4-C39より移行
合計															6	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
24-C1-1	橋梁点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより効率的な施設管理をおこなう。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 地権者と協議を図りながら知立環状線等の用地買収が着実に進んでおり、快適で安全な交通環境が創出されつつあると考えられる。 ・ 対策が必要な橋梁の耐震補強を実施したことにより、災害に対して安全・安心な生活環境創出に寄与したと考えられる。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（都市計画道路整備率）	最終目標値	69%	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	70%		
	指標②（橋梁耐震補強化率）	最終目標値	77%	目標値と実績値に差が出た要因	平成24年の道路橋示方書（耐震設計編）の改定によって、耐震補強に関する規定が見直された。これにより、耐震補強が必要とされていた橋梁についても、耐震基準を満たしているものと判断されることとなったため、耐震補強が必要な橋梁数が減少した。また、本計画に位置づけられた事業等の実施により、市内の橋長7m以上の全ての橋梁は耐震基準を満たしていると判断できることとなったため、目標値を上回る結果となった。
		最終実績値	100%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		—			

3. 特記事項（今後の方針等）

【効果を持続させるテーマ】	市街地における快適で安全な交通環境の創出
【効果を持続させるための基本的な考え方】	・土地区画整理事業や都市計画道路整備事業等を推進し、歩行者や自動車交通の安全性を高めるとともに、交通の円滑化を図ることによって中心部の交流促進に寄与する道路の整備を図る。 ・耐震補強を実施した橋梁の適正な維持管理を推進するとともに、既存の道路施設についても、耐用年数に応じた適正な改良・更新を推進する。
【想定される事業案】	・土地区画整理事業の推進 ・知立連続立体交差事業の推進 ・都市計画道路の整備 ・既存道路施設の適切な維持管理

